

第 1 回「新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会」会議概要

- 1 日 時 令和 2 年 5 月 2 9 日（金） 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 3 0 分まで
- 2 場 所 徳島グランヴィリオホテル 1 階 ヴィリオルーム
- 3 出席者
 - （1）委 員 1 3 名中 1 3 名出席
 - （2）県教委 教育次長，特別支援教育課長，事務局員 5 名
- 4 会議次第
 - （1）県教育委員会あいさつ
 - （2）委員紹介
 - （3）委員長・副委員長の選出
 - （4）事務局説明 ①新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会の設置について
②徳島県立特別支援学校の現状と課題について
 - （5）各検討事項についての協議
- 5 検討委員会委員から出された主な意見（3つの検討事項別に整理）
 - （1）検討事項 1 地域を学習の場とする「新たな教育内容」
 - ・特別支援学校の子どもたちだけでなく，通常の中学生や高校生等の同世代の子ども同士と一緒に活動できる場や参加できるイベントを目指していただきたい。
 - ・企業としても，学校，ハローワーク，県教委が一体となってネットワークを構築し，さらにできることを考えていきたい。
 - ・特別支援学校でなければできない作業や施設設備を整えるだけではなく，地域の実情に応じた教育内容や施設を校内に設けていただきたい。
 - ・特別支援学校と福祉関係が連携し，卒業後の生涯スポーツや文化芸術活動へと繋がっていくような取組を推進していただきたい。
 - （2）検討事項 2 新たな教育内容を支える「教育環境の整備」
 - ・今後の児童生徒数予測では，特別支援学校だけでなく，特別支援学級等の「潜在的な需要」を念頭に置きながら，ある程度の幅をもたせた検討が必要である。
 - ・防災機能が強化された安心，快適な環境整備及び「新しい生活様式」に合わせたオンライン教育等に配慮いただきたい。
 - ・特別支援学校の老朽化や狭隘化の状況を知り，早期に改善いただくとともに，子どもたちが安全に過ごしやすい環境の確保をお願いしたい。
 - ・子どもたちに体力がつくような教育内容や設備を整えていただきたい。
 - （3）検討事項 3 学校間で専門性を確保する「特別支援学校間ネットワーク」
 - ・遠隔授業充実のためには，家庭の接続環境も含めて進めていくことが大切である。
 - ・同じ体験や悩みを共有できるような子どもたち同士の「仲間作り」のシステムを構築することも検討いただきたい。